

地平線

それは強くもあり
また、弱くもあり

言葉はただ微風の如く
君はもっと君であってほしい

それは昼のようでもあり
また、夜のようでもあり

全てのものから自由であり
全てのふるえを感じていたい

それは不安でもあり
また、安らぎでもあり

メランコリーは既に遠く
石のように乾いた毎日

それは平坦でもあり
また、無意味でもあり

地平線は馬鹿げていて
僕は倦怠の砂漠を歩いている

(1986.6.16)